処 方 箋

カルテ番号			発行	至	F	月	日	
病名								
	 ・薬剤名(一般名): デュラグルチド ・英名: dulaglutide ・分類: 糖尿病治療薬 ・分類(略称): 持続性 GLP-1 受容体作動薬 ・用法:注射(皮下注) ・表示区分: 劇薬 							
	禁忌:重症感	[禁忌・慎重投与] ・禁忌: 過敏症、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡または前昏睡、1型糖尿病、重症感染症、手術等緊急の場合 ・慎重投与: DPP-4 阻害薬						
	[作用] 膵 ß 細胞の GLP-1 受容体に結合し、細胞内 cAMP 濃度を上昇させグルコ存的にインスリン分泌を亢進する。アミノ酸置換により、DPP-4 の分解に性を示す。							
処 方	[適応] 2型糖原	尿病						
	[副作用 低血糖、 膨満感な	- - - 急性膵炎、悪心・嘔吐、下痢・便和 	必、食欲》	或退、消化不良 、	腹部之	不快感、	腹部	
	④豆知識(国試対策事項や使用の注意等) ●間接的にインスリン分泌を増やすため低血糖を起こしにくい。 ●体内で GLP-1 と同様の働きをするが、DPP-4 の影響を受けにくい。 ●週 1 回製剤であり、同一曜日に投与する事。 ●投与を忘れた場合、次回投与までの期間が 72 時間以上であれば、その時点で直ちに投与し、その後は決められた曜日に投与すること。 ●次回投与までの期間が 72 時間未満であれば投与せずそのあらかじめ定めた曜日に投与すること。							
	投与する	ること。						